

学校だより



あたらしき あたたかさ たくましき

われらの金池

令和8年5月 1日
第 2号
大分市立金池小学校
文責：校長 安藤稔

新緑の5月～若い芽はひをうけて空高く伸びてゆく～

新学年になって1か月。1年生もすっかり小学校の生活リズムが、身についてきたようです。他の学年も一つ上の学年に進級したことから、当該学年の自覚が見て取れます。特に6年生は、最上級生としての自覚が日常の行動や授業態度、掃除、委員会の取組などから感じられます。この調子で全校をリードしてもらいたいです。

さて、子どもたちの登校時の様子を見ていると、帽子をかぶっていない児童が多くいます。これから暑さ本番、熱中症対策として外出時の着帽は必須です。登校時や放課後、休日等で外出する際には、帽子と水分補給を意識して声掛けしていただけたらと思います。新緑の美しい季節、「若い芽はひをうけて空高く伸びてゆくのだ」と校歌にありますように、ぐんと伸びていく5月です。勉強に、体力作りに頑張り、人とのかかわり方を集団生活で学び、来る夏への備えができたらと思います。

連休中の事件事故には十分留意し、連休明けからの教育相談をよろしく申し上げます。



【まずは、ランドセルの直し方から】

【睡眠時間の確保】

昨年度の学校だより、さらには全校集会の場でもお伝えしましたが、金池小児童の生活習慣として、「睡眠時間が少ない」ことが課題として挙げられています。

野球界で大活躍中の大谷翔平選手は、野球で酷使する身体の疲労回復、アメリカでの長時間の移動、時差などに対応するため、睡眠時間を1日10～12時間確保するように意識し、実践しています。

小学生であれば最低でも8時間以上の睡眠時間は確保し、身体や脳の疲労回復、集中力、判断力の維持に努めてもらいたいです。そして、朝起きたら、昨年度在籍していた佐藤智恵美養護教諭が離任式で伝えていた「朝日を浴びること」を実践してみましよう。

【好きを育み、得意を伸ばす】

小学校で学習する内容は、公立学校ですので、国が示す「小学校学習指導要領」に基づき定められています。この指導要領は、時代背景等を鑑みて、概ね10年ごとに改訂されています。現行学習指導要領は、2020年度(R2年度)から全面実施されており、「道徳の教科化」、「高学年の外国語(英語)導入」などが新たに加わりました。

現在、国では次期学習指導要領の改訂に向けて、大枠が審議されています。その都度、学校だより等で紹介していきますが、今回は、「好きを育み、得意を伸ばす」についてその背景を紹介します。今後、社会の中でAIがさらに進出することが予測される中、今の子どもにとって大切なのは、「AIに取って代われない『自分の価値』を見つけること」です。そこで、学校でも、自分のやりたいことに立ち向かい、自分の強みを発揮する力の育成が重要視されてきます。